

## モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立県民ホール(本館・芸術劇場)  
 指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団  
 施設所管課 神奈川県県民局くらし文化部文化課

(平成 23 年度 上半期)

## 管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B
---

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	備考（確認事項等）
4月	5月10日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
5月	6月10日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
6月	7月11日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
7月	8月10日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
8月	9月9日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。
9月	10月7日	月報等で業務が適切に行われていることを確認した。

## 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

## (1) 施設管理の実施方針

## ア 一体運営について

## ＜提案内容の概要＞

- ・一体運営により「アートベルトエリア」を形成し、賑わいの創出と魅力ある地域づくりを行う。
- ・一体運営により管理運営の効率化をはかる。顧客サービス向上とコスト削減の取組みとして、利用受付業務、チケットセンター業務、経理・庶務業務、広報・営業部門業務について、業務を統合・集中および延べ配置人数の低減等を行う。同一内容の業務に関しては、共通業務として一体的に委託する。
- ・管理運営面において、清掃業務、受付案内業務、駐車場管理業務、保安警備業務等を共通委託する。両施設に共通する保守点検に関する業務もできる限り一体的に実施する。
- ・収入増への取組みとして互いの駐車場を誘導しあい、利用者の利便性を高めるとともに利用増を行う。

## ＜実施状況＞

- ・事業面において、両館で「第18回神奈川国際芸術フェスティバル」「オープンシアター」「TPAM 国際舞台芸術ミーティング」を実施したほか、県観光協会と協力した観光と一体となったツアーの実施や、夜の公演を楽しんだ後に食事ができる店などを示した中華街マップを作成・配布するといっ

た地域の賑わいづくりに資する取組みを実施している。

- ・利用受付業務に関して、両館において利用者に施設の紹介を行っている。駐車場利用の案内も同様に紹介をしあっている。
- ・施設の維持管理業務、経理・庶務は、本館ホール課において一元的に実施し効率化を図っている。チケットセンター業務は、本館の管理のもとに同一業者で行っている。広報・営業に関しては、広報営業課において一元的に行っている。
- ・清掃業務、受付案内業務、駐車場管理業務、保安警備業務、各種保守業務は、同一業者、共通業者に委託し、効率化とコスト削減を図っている。

## イ 適切な管理運営について

### <提案内容の概要>

- ・サービスの向上への取組みとして、高い水準・実効性の確保、効率的作業、経費節減を業務実施の3大ポイントとして適切な管理運営を行う。
- ・アンケート実施等を通して利用者ニーズの把握に努め、苦情原因の是正及びその予防に努める。
- ・開館日や開館時間の柔軟な設定を行う。
- ・駐車場利用の促進などを行う。
- ・防犯、防災対策に取組み、安全対策を行う。
- ・(本館) 利用収入増への取組みとして、空き日状況のWEBサイトでの提供や、貸館に配慮した自主事業の配分、同一日内の複数利用などのきめ細やかな利用調整や積極的な営業などにより固定利用者を確保する。

### <本館・実施状況>

- ・特に、東日本大震災後の取組みとして、貸館利用者に対して、利用取消による利用料の還付対応や延期対応を実施した。また、震災により建物外壁や舞台機構の一部に影響が出たが、早急な修繕、対応により運営上の支障は生じなかった。
- ・利用者サービスの向上への取組みとして、空き日の情報のホームページ上での広報、開館時間前の早朝開館の実施、バリアフリー対応の一環として、大ホールにおける上席階への職員用エレベーターでのご案内等を継続して実施した。
- ・安全管理面では、職員全員へのヘルメットの支給などに取り組んだ。

### <芸術劇場・実施状況>

- ・開館後、間もない施設であることから、設備・機構類の運転方法や日常点検項目、またその頻度などについて、委託業者を交え検討を重ねている。委託業者とは毎週打ち合わせを行うほか、建物の管理組合やNHK横浜放送局とも定期的な情報交換の場を設け、施設利用状況に応じたきめ細かい設備点検計画、清掃計画等の作成・更新により、効率よい施設維持業務の実施に努めている。

### <共通・実施状況>

- ・安全管理面では、避難訓練の強化や防災マニュアルの更新などに取り組んでいる。また、省エネ強化(夏場の電力ピークカットの取組み、館内の節電)にも取り組んだ。
- ・環境対策として省エネに加えて、グリーン購入、ゴミ分別の強化に取り組んだ。

## (2) 自主事業の実施方針

本館、芸術劇場両館で、a) 良質な舞台芸術作品の創造・発信＝多彩な鑑賞機会の充実、b) 教育普及活動の充実による文化芸術への理解・関心の促進、c) 人材育成への積極的取組みによる文化芸術振興基盤の強化、d) 「賑わいの創出」による地域振興と地域経済への貢献、の4つを柱とした一体的な事業展開により、地域の文化芸術振興の促進を図る。

両館共通の事業として、県民が直接参加する事業、地域の団体・個人の支援、共同で実施する「賑わいの創出」事業、多彩な事業を実現するための共催公演、提携公演等に取り組む。

## 【本館】

### ＜提案内容の概要＞

本館の事業実施においては、一柳 慧芸術総監督の指導のもと、県民の期待と共感を得られる事業を立案し、多様なニーズに応え、神奈川ならではの文化芸術振興を総合的に図っていく。

大ホールでは、「神奈川国際芸術フェスティバル」と年間プログラムにおいて、本格的な舞台機構を活かした国内外の一流のオペラ、バレエ、大編成オーケストラ公演等の大型の舞台芸術の上演に重点を置いて実施する。小ホールでは、パイプオルガンを活用した事業や客席とステージが近いホールの特性を活かした室内楽公演、観客拡大や芸術普及のための講座事業等を実施する。ギャラリーでは、現代美術等の展示企画及び幅広い県民参加を中心とする神奈川県美術展等を実施する。

### ＜実施状況＞

#### ○大ホール（主催事業）

- ・第18回神奈川国際芸術フェスティバル～神奈川芸術劇場<KAAT>開館記念 はじまり、はじまる「神奈川県民ホールオープンシアター2011」4月30日（土）入場者数1,236人

#### ○小ホール（主催事業）

- ・第18回神奈川国際芸術フェスティバル～神奈川芸術劇場<KAAT>開館記念 はじまり、はじまる「神奈川県民ホールオープンシアター2011 パイプオルガン・プロムナードコンサート Vol.303」入場者数561人  
パイプオルガン・プロムナードコンサート Vol.304 5月27日（金）入場者数205人、Vol.305 7月22日（金）入場者数350人、Vol.306 8月6日（土）入場者数300人、Vol.307 9月30日（金）入場者数280人
- ・「なつかしい日本の歌～團伊玖磨メモリアル～」5月21日（土）入場者数328人
- ・第81回舞台芸術講座「小学校3年生からおとなまで楽しめるパイプオルガン 夏休み子どもスペシャル」8月26日（金）入場者数370人
- ・小林英之パイプオルガン・リサイタル9月10日（土）入場者数219人

#### ○ギャラリー（主催事業）

- ・第45回神奈川県美術展 1期展[工芸・書・写真]9月7日（水）～18日（日）入場者数2,509人、2期展[平面立体]9月21日（水）～10月2日（日）入場者数3,969人

#### ■人材育成事業 インターンシップの受入れ

職場体験9名、事業研修2名、施設維持研修44名 合計55名の受入れ。

## 【芸術劇場】

### ＜提案内容の概要＞

モノを「つくる」、人を「つくる」、まちを「つくる」という三つの「つくる」を満たす創造型劇場として、宮本亜門芸術監督のもと、国内外の優れた作品を招聘し紹介する機会を作り出すのみならず、より強く独自の作品創造による舞台芸術表現の新しい可能性を追求し、国内外に「神奈川ブランド」を発信する。

a) 芸術文化創造事業として、芸術監督の演出若しくは企画による作品の制作などの企画事業と、制作会社や興行会社とのネットワークにより多彩で魅力的なプログラムを実施する提携事業の2本柱で展開。

b) 隣接する本館との一体運営による総合的事業の実施と管理運営の効率化。

c) 人材育成普及事業として、舞台芸術を支える人材を育成するインターンシップの受入れと指導などを実施。

### ＜実施状況＞

#### ●ホール

#### ○主催事業

- ・三谷幸喜「国民の映画」4月20日（水）～5月1日（日）入場者数15,768人 ・神奈川県演劇連盟合同公演「黒船がやってきた！」5月7（土）～8日（日）入場者数1,942人 ・宮本亜門「太平洋序曲」

6月17日(金)～7月3日(日) 入場者数 10,294人 ・宮本亜門「スウィーニー・トッド」 7月9日(土)～10日(日) 入場者数 2,580人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「TheatriKA' 1」 7月31日(日) 入場者数 127人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「Hip Hop Gala」 8月5日(金)～7日(日) 入場者数 1,052人

- 提携事業 ・日本舞踊協会神奈川県支部「神奈川芸術劇場オープニング記念日本舞踊公演」 5月14日(土) 入場者数 677人 ・(社)神奈川県芸術舞踊協会「神奈川芸術劇場完成記念公演」 5月21日(土)～22日(日) 入場者数 1,644人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「Yokohama Dance Delight」 7月30日(土) 入場者数 359人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「UPPER FIELD」 8月2日(火)～3日(水) 入場者数 1,478人 ・「杉本文楽 曾根崎心中」 8月14日(日)～16日(火) 入場者数 4,949人 ・「ドラムライン LIVE」 8月24日(水)～25日(木)、28日(日) 入場者数 4,021人 ・「が～まるちよば」サイレントコメディ JAPAN TOUR 2011 9月8日(木)～11日(日) 入場者数 2,547人 ・「神秘域」 9月21日(水) 入場者数 297人

## ●大スタジオ

### ○主催事業

- ・イキウメ「散歩する侵略者」 4月23日(土)～24日(日) 入場者数 469人 ・「KAAT オープントーク vol.2」 7月2日(土) 入場者数 90人 ・KAAT キッズプログラム「が～まるちよばサイレントコメディ SHOW」 7月20日(水) 入場者数 258人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「ダンスショーケース&パネルディスカッション」 8月1日(月) 参加者数 50人 ・「宮本亜門ミュージカルワークショップ」 8月25日(木)～30日(火) 参加者数 33人

- 提携事業 ・横浜フランス月間「イエス・キリストによると」 6月10日(金) 入場者数 113人 ・YASUYUKI SHUTO「DEDICATED」 6月17日(金)～19日(日) 入場者数 901人 ・横浜フランス月間/日独交流 150周年「Jailbreak Mind」 6月22日(水)～23日(木) 入場者数 322人 ・横浜フランス月間/日独交流 150周年「Self Unfinished (1998)」 6月25日(土) 入場者数 169人 ・KAAT キッズプログラム「第18回神奈川県私立中・高等学校演劇発表会」 7月17日(日)～18日(月) 入場者数 1,441人 ・KAAT キッズプログラム ハマラオシアター日本公演「どどつとどん」 7月23日(土)～24日(日) 入場者数 466人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「Li'l Wild」 7月31日(日) 入場者数 88人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「1on1 バトルイベント」 8月4日(木) 入場者数 250人 ・KAAT ストリートダンスフェスティバル「UK B-Boy Championships Japan」 8月8日(月) 入場者数 106人 ・「はなれ瞽女おりん」 9月18日(日)～19日(月) 入場者数 364人 ・「庭みたいなもの」 9月22日(木)～25日(日) 入場者数 389人

## ●中・小スタジオ

### ○主催事業

- ・「八月のシャハラザード」 4月22日(金)～24日(日) 入場者数 415人 ・観よう!遊ぼう!たのしもう!「あそびば」 4月29日(金)～5月1日(日) 入場者数 522人 ・「文楽講座①」 7月10日(日) 入場者数 120人 ・KAAT キッズプログラム「みにくいあひるの子」 7月16日(土)～18日(月) 入場者数 208人 ・KAAT キッズプログラム「連獅子ってなあに??」 7月20日(水) 入場者数 152人 ・KAAT キッズプログラム「親指こぞうーブクッティーノ」 7月22日(金)～24日(日) 入場者数 231人 ・「文楽講座②」 8月7日(日) 入場者数 110人 ・KAAT 体験ワークショップ「プレイバック・シアター」 9月17日(土) 入場者数 29人

- 提携事業 ・首藤康之・中村恩恵「夏期バレエ講習会」 7月25日(月)～31日(日) 入場者数 240人

## ●アトリエ

### ○主催事業

- ・KAAT ストリート・ダンス・フェスティバル「SPECIAL WORK SHOP」 8月1日(月)、5日(金) 参加者数 50人 ・KAAT 体験ワークショップ「香瑠鼓ダンスワークショップ」 9月24日(土) 参加者数 29人

- 提携事業 ・「ARTIST METHOD YOKOHAMA」 7月1日(金)～3日(日) 参加者数 108人

■本館と連携したオープンシアターの実施

・県民ホールと同時期に劇場を開放するオープンシアターを開催。「国民の映画」のセットの裏を見せるバックステージツアーと、アトリウムでの無料パフォーマンスを開催。

■人材育成事業 インターンシップの受入れ

7月～9月 劇場運営 12名、舞台技術 10名 合計 22名が参加。

(3) 事業の収支バランスの安定を図る取組みについて

<提案内容の概要>

a) 収支バランスの基本的考え方を定める取組み、b) 指定管理料以外の収入確保の取組み、c) 広報宣伝・営業の強化、d) 外部資金獲得への取組みを図る。

<実施状況>

- 1. 法人賛助 5,150,000円、2. 個人賛助 330,000円、
- 3. 個別協賛 3,700,000円(賛助金700,000円、個別公演への寄付(2企業)計3,000,000円)
- 4. 広告協賛 650,000円、5. チケット協賛 83,700円 合計 9,913,700円
- 6. 文化庁 「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業(重点支援劇場・音楽堂)」内定額 合計 43,449,000円

3 収支状況(単位:千円)注:千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

【本館】

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額今期 (前期)	917,414 (1,022,824)	583,000 (654,946)	245,000 (225,000)	89,414 (142,878)	917,414 (1,022,824)	0 (0)
上半期予算額	381,958	237,763	123,500	20,695	381,958	0
4月	20,957	5,095	15,507	355	10,223	10,734
5月	68,083	38,342	28,965	776	66,116	1,967
6月	73,907	51,267	21,120	1,520	63,380	10,527
7月	79,390	53,108	24,706	1,576	54,962	24,427
8月	69,671	46,116	19,652	3,902	84,674	△ 15,002
9月	61,004	43,835	14,603	2,565	60,741	263
今年度半期計	373,015	237,763	124,555	10,696	340,097	32,916
前年度同期計	415,465	255,761	127,916	31,788	394,565	20,900

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する

<意見等>

①～③該当なし

【芸術劇場】

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額今期 (前期)	1,082,126 (785,970)	619,161 (550,899)	147,000 (22,500)	315,965 (212,571)	1,082,126 (785,970)	0 (0)
上半期予算額	644,010	343,452	62,500	238,058	644,010	0
4月	49,288	42,453	5,640	1,195	10,199	39,089
5月	59,632	49,935	9,242	454	27,529	32,103
6月	98,261	92,930	2,705	2,626	53,679	44,582
7月	80,254	67,792	9,405	3,056	118,700	△ 38,445
8月	189,767	46,184	5,413	138,169	89,611	100,155
9月	66,665	44,158	11,341	11,165	62,096	4,568
今年度半期計	543,870	343,452	43,749	156,669	361,816	182,052
前年度同期計	190,451	189,149	432	870	168,285	22,166

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

① 今年度上半期収支差額について

上半期における執行を予定していた「太平洋序曲」の制作委託料及び著作権料約160,000千円と「ストリート・ダンス・フェスティバル」の負担金約20,000千円の合計180,000千円が、下半期の執行となり、支出額が下がったことによる。

② 上半期計前年度対比について

神奈川芸術劇場は、平成23年1月開館であり、昨年度は当該期間が開館準備期間であったが、今年度は4月1日より全面開館しており、収入・支出ともに増となったことによる。

③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した修繕費等

100万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	2,310千円	本館外壁補修工事 2,310千円
下半期		
総額	2,310千円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

		利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	本館	36,443人	49,393人	△26.22%
	芸術劇場	23,188人	—人	—%
5月	本館	74,436人	60,630人	22.77%
	芸術劇場	15,790人	—人	—%
6月	本館	48,388人	58,911人	△17.86%
	芸術劇場	13,573人	—人	—%
7月	本館	60,825人	53,704人	13.26%
	芸術劇場	18,410人	—人	—%
8月	本館	48,400人	49,148人	△1.52%
	芸術劇場	16,801人	1,679人	—%
9月	本館	38,154人	40,981人	△6.90%
	芸術劇場	17,281人	1,172人	—%

		目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	本館	—人	306,646人	312,767人	—%	△2.0%
	芸術劇場		105,043人	2,851人	—%	—%
今年度下半期計	本館	—人	—人	—人	—%	—%
	芸術劇場		—人	—人	—%	—%

利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)  
 ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。  
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①②該当なし

5 苦情・要望等の状況  
 受付件数（うち施設所管課受付分）

【本館】

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	24 (0)
5月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (0)	21 (0)
6月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)
7月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	7 (0)
8月	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (0)	21 (0)
9月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (0)	17 (0)
合計	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	92 (0)	93 (0)

【芸術劇場】

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	12 (0)
5月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (0)	23 (0)
6月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
7月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (0)	31 (0)
8月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (0)	20 (0)
9月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	12 (0)
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	98 (0)	98 (0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

【本館】

分野	概要	対応状況
施設・設備	・階段がきつい・エレベーター・エスカレーター の設置要望(17件)	階段や段差の移動が困難な来館者が多数予想される場合には、事前打合せ等で当日の動線を確認するとともに、案内スタッフへの連絡、指導の徹底等を十分行い、的確な案内を行うことで対応している。また、希望される来館者に対しては、案内スタッフによる職員用エレベーターへの誘導も実施している。
	・トイレがよくない。(少ない、混み合うなど)(11件)	公演の休憩時には利用が集中するため、案内係を配置し速やかな誘導を行うことにより、待ち時間の短縮を図るよう努めている。大ホール公演の休憩時に小ホールの利用がない場合には、小ホールロビーのトイレも案内している。
職員対応	・会議室から階段も利用したい。(4件)	階段はバックヤードに位置しているため、利用者には非常時のみご利用いただくこととしているが、主催者から依頼があった場合には、利用時間帯等の打合せを行うとともに、警備員とも連携を図り、階段をご利用いただくなど、柔軟に対応している。



事業内容	・未就学児童や子ども向けのイベント・良質の音楽を今後ともたくさん企画してほしい。(18件)	「パイプオルガン・プロムナード・コンサート」では入場年齢制限のない回を設けたり、「パイプオルガン夏休み子どもスペシャル」ではミニコンサートとともにオルガンに実際に触れてみる体験コーナー等のアトラクションを設けたりするなど、子どもが楽しめる事業を、年間を通じて実施している。また、「オープンシアター」では子どもから楽しめるプログラムを組み入れた演奏会を実施し、子どもから大人までご好評いただいている。今後もより多くのお客様への公演情報の周知に努めるとともに、託児サービス（有料）を設けるなど、より来場しやすい工夫を継続していく。
その他	・ホール空調について(暑い、寒い)(5件)	場内が快適な温度設定となっているか主催者と連絡を取り合い、こまめに空調を調整している。

**【芸術劇場】**

分野	概要	対応状況
施設・設備	・場内の案内図がもっとほしい。(15件)	フロアマップの増設を行った。
	・駅から地上に出た後に案内がなくて不便。(10件)	路上の案内看板設置・記載については関係機関へ引き続き要望を出していく。
	・トイレの個室が狭い。(10件)	設計上、トイレを広くすることは困難であるが、案内スタッフが声かけを行う等、お客様が快適に使用できるよう努める。
	・3階の手すりが視界を遮って邪魔(6件)	設計上、手すりを取り外すことは困難であるが、各席からのサイトラインについては今後も検証を続けていく。
	・ロビーが暗い。(5件)	既設の照明の点灯時間を工夫するとともに、照明器具の増設などを検討している。
	・2階席、3階席の階段(段差)が急で怖い(5件)	案内スタッフへの連絡、指導の徹底等を十分に行い、階段や段差の移動が困難なお客様に対して的確な案内を行うことで対応する。
職員対応	・特になし	
事業内容	・長期的なワークショップ、継続性のあるワークショップを開催してほしい。(10件)	今後の事業計画作成時において検討する。
	・バックステージツアーなど(劇場を見学できるプログラム)を開催してほしい。(8件)	バックステージツアーは昨年3月の「KAAT建築探検」等、既に開催し、好評いただいている。今後の事業計画作成時においても検討していく。
	・キッズプログラムと銘打つのであれば、市内の小学校が休みになってからか、開始時間を考慮してほしい。(3件)	より多くのお客様にご来館いただけるよう、時期、時間帯等、今後の事業計画作成時において検討する。
	・子ども席の子どものマナーに問題を感じる。席の設け方や注意方法がないか検討してほしい。(3件)	子ども向けプログラムでの座席のご案内方法や案内スタッフの対応により、より快適にご鑑賞いただけるよう努める。
その他	・特になし	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

### 【本館】

発生日	概要・対応状況等
5月4日(水)	大ホールの舞台撤去作業中、美術バトンの重りを外す際に、ロープで固定した重りの天板が落下し、作業を行っていた照明業者(女性)1名が左手親指を天板で挟み負傷したため、近隣の病院で治療を受けた。診断結果は骨折。原因は固定ロープの緩み。
8月15日(月)	大ホール来館者女性(20代)が正面玄関前広場の階段で転び、右足首を負傷(ねんざ)した。本人の希望により救急車を要請し搬送した。

### 【芸術劇場】

発生日	概要・対応状況等
9月2日(木)	出演者がリハーサルに参加中、4階楽屋前廊下に置いていた荷物から財布(現金7万円程度)が盗まれた。従前から、施設利用者には利用説明の際に、貴重品の保管は施設に設置してある貴重品ロッカーを利用するよう説明しているが、改めて、利用を呼びかけている。

## 8 随時モニタリングの実施状況

⇒該当なし

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			

9 上半期の所見等

〔1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。〕

<p>指定管理者</p>	<p><b>【本館】</b>          施設維持管理において、電気系統の不具合による停電のおそれ、震災余震の影響による雨漏り、舞台機構の老朽化（ピンスポットライトの故障、舞台迫りのワイヤーロープの劣化）等、安全な利用環境の提供に不安が生じている。          外壁タイル、床のレンガの裂傷、階段部分の壁面の亀裂等により、建物外観の劣化も進んでいる。          このような状況の中においても、快適な利用・鑑賞環境を維持するために、定期点検に加え、各所の追加点検や細やかな修繕等を実施している。          大災害に対する防災対策については、緊急地震速報装置の導入、防災訓練の強化等の対策を講じている。節電対策については、LED化など引き続き省エネの取組みに努めている。          施設面では、依然としてバリアフリー関係やアメニティ関係の要望が多いが、障害者や高齢者の方々に対し職員などによるサービス向上に努め来館者の方々に快適にご利用いただけるよう、継続して努力、対応を講じていく。</p> <p><b>【芸術劇場】</b>          開館後2年度目の上半期は、様々な規模や対象の事業を数多く展開するとともに、施設の貸出も開始した。          事業実施においては、チラシやWEBサイト、パブリシティ等の工夫等により、施設や事業の認知度を高め、入場者数等の更なる増に努めることにより、事業実施の効果を高めるとともに、貸館事業において把握した課題等に迅速に対応し、利用しやすい施設となるよう工夫することで、入場者数、利用者数、利用日数、利用料金収入等の向上につなげていきたい。</p>
<p>施設所管課</p>	<p>県民ホール（本館・神奈川芸術劇場）の一体運営により、神奈川県内の広域的な芸術文化拠点として、施設の特性に応じた効果的な事業を展開しているほか、地域の文化資源や観光資源との連携の強化、一元化による効果的な広報・営業に努めている。また、管理運営面を中心に効率化を図っている。</p> <p><b>【本館】</b>          ・昭和50年の開館から36年が経過しており、施設・設備の老朽化、バリアフリー対応の必要性、トイレの数の不足などの課題がある。          指定管理者には、引き続き、施設・設備の保守・点検について万全を期して、管理・運営にあたっていただくとともに、災害時においても、来場者等の安全、安心が確保できるような体制の確保にも留意していただきたい。          なお、老朽化等の課題は、県と指定管理者で、検討・協議を行い、課題を整理し、優先順位をつけながら、施設・設備類の改修、修繕、更新を行っていく必要がある。          ・施設・設備面での制約はあるが、全国有数の大規模ホールである大ホールや、小ホール、ギャラリー等を備えた県内随一の複合施設として、施設特性を活かした管理運営に努め、県民サービス向上を図り、利用率、利用者数、利用料金収入の向上につなげていきたい。          ・引き続き、水準の高い公演を実施し、県民に良質な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、高い芸術性を有する新しい文化芸術を創造し発信していただきたい。</p> <p><b>【芸術劇場】</b>          ・通年運営の初年度を迎え、貸館事業が開始されたことから、利用者のニーズに適切に対応し、快適な利用環境の提供に努められたい。また、節電や経費節減といった観点から、効率的かつ環境負荷の少ない施設環境の実現に向け、引き続き努めていただきたい。          ・大地震等の緊急時の対応については、東日本大震災発生時において帰宅困難者への適切な対応がなされたように、引き続き対応能力の維持及び向上を図っていただきたい。          ・様々な広報媒体を活用し積極的な広報を展開しているが、認知度のさらなる向上に向けて、引き続き広報の充実を図り、施設利用の促進に繋がれるよう努めていただきたい。</p>

